

だるまちゃんと楽しむ

日本の子どもの

どく

ほん

あそび読本

加古里子 著



福音館書店

まえがき

この『日本の子どものあそび読本』は、昭和42年
(1967年)に出した『日本伝承のあそび読本』を新
しくしたものです。元の本は新書版の小型でしたが、
戦争や敗戦の混乱で、消えつつあった日本の子ども
のあそびの復興をめざし、多くの方の応援をいただ
き、版を重ねてきました。

しかし、50年もたっている現在、子どもたちの成
長と未来にふさわしい内容、題材、記述になるよう
選びなおし、書き改めました。前書と同様のご愛用
をお願いしてご挨拶いたします。

卒寿九十歳を迎える日 加古里子

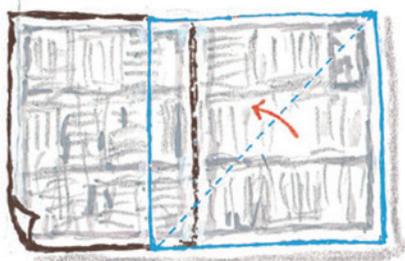


新聞紙のかぶと

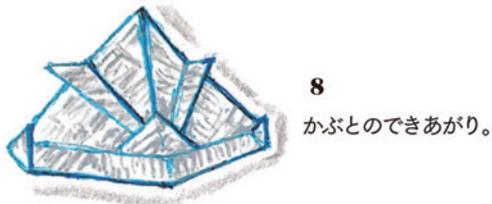
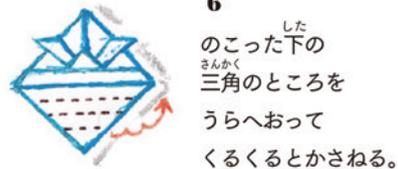
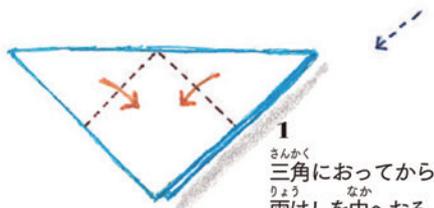
新聞紙などの大きな紙でかぶりものをつくる楽しいあそびです。

紙かぶと

2ページつづきの新聞紙から
大きな正方形の四角い紙をつくります。
その大きな紙を、1～8とおって、
できた紙の「かぶと」をかぶります。

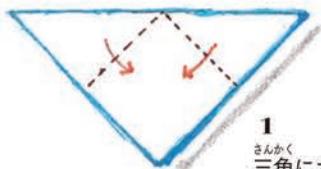


新聞紙から正方形の紙をつくる



きよまさ
清正かぶと

また、^{した}下の^{した}ように1~8とおってゆくと、
かとうきよまさ
加藤清正というおさむらいがかぶっていた、
かたは きよまさ
とんがった形の「清正かぶと」となります。



1
さんかく
三角におってから
りょう
両はしをおって



2
さゆう
さらに左右を
なか
中へおって



3
した ちい さんかく
下の小さな三角の
うえ
ところを上へ。



4
そと
外がわへ
ちい
小さくおる。



5
した かみ まい
下の紙を1枚だけ
うえ
上へ。



②
かみ
紙をつかう



6
いちど
もう一度
おりあげる。



7
した
下のこった
さんかく かみ
三角の紙を
うらへおる。



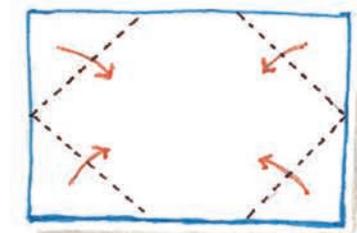
うらがえしたところ



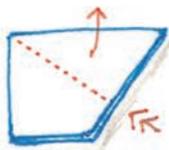
8
きよまさ
「清正かぶと」の
できあがり。

紙でっぼう

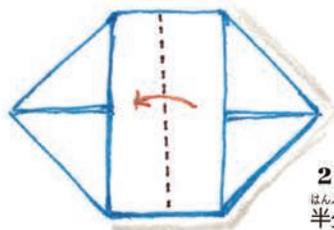
自分の力のいれかたで、いろいろな音がでるあそびです。



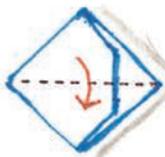
1
かど
角を
なか
中へおる。



6
おなじように
うらがえて
ふくろの形として



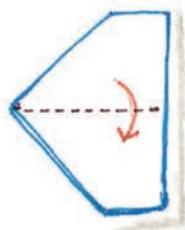
2
はんぶん
半分におって



7
うえ
上
さんかく
上の三角を
した
下へおって

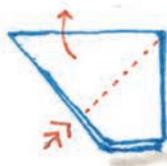


8
さんかく
さんかく
かたち
三角の形とする。

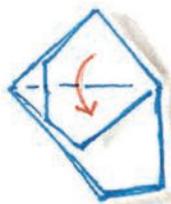


3
した
下へおる。

9
かみ
紙のかさなりが
すく
少ない
さんかく
さんかく
かど
三角の角X
をもち
て
ちから
力いっぱい
ふりおろす。



4
うえ
上
かみ
紙を
ふくろの形に
かたち
おりひろげる。



5
うえ
上
さんかく
上の三角を
おる。

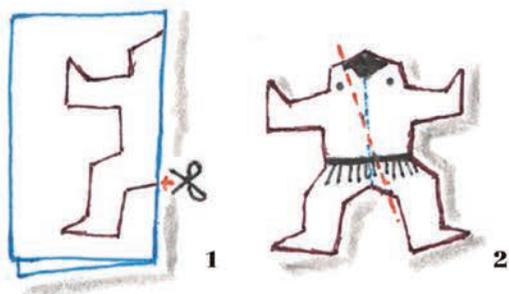
ポン！と音がして

「紙でっぼう」となります。

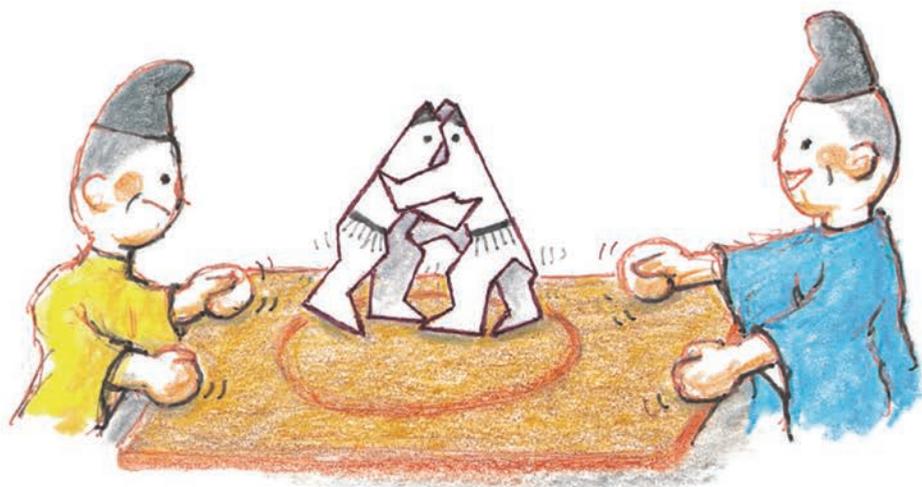
さらに力をこめてふりおろすと

「二連発」となります。

紙かみずもう



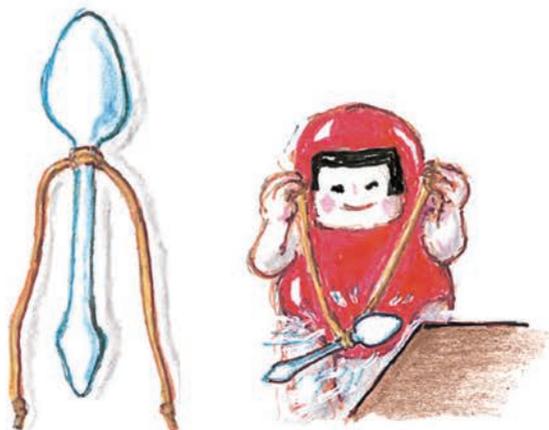
いらなくなった古ふるハガキか、
おなじぐらいのあつさの紙かみを半分はんぶんにおいて「おすもうさん」の形かたちに切ります。
その紙かみをひろげ、顔かおやマワシをかきます。
この「おすもうさん」を2つつくって、少しすこなめにおり目めをつけると
うまくみあわせができます。



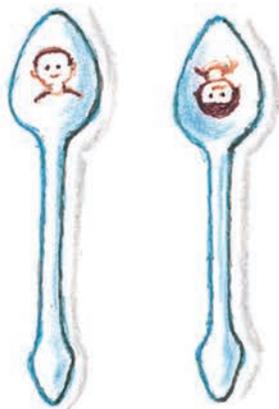
テーブルの上うへか、紙かみばこのフタなどに土俵どひょうをかいてくみあわせ、
トントンとたたくと大ずもうのはじまりです。
土俵どひょうからでるか、たおれたとき下したになっているかで
勝ち負けかをつけてあそびます。

スプーンのかねの音

おとな しょう こども しょう きんぞく
大人用でも子ども用でも金属のスプーンをよういします。

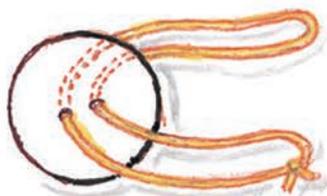


スプーンのまん中に長くしっかりしたひもをくくりつけます。
その両はしにむすび目をつくって、それぞれの耳のあなにあて、
ゆびでおさえます。そして、机や食卓の角に打ちつけると、
すばらしい音がきこえてきます。
それが「スプーンのかねの音」です。



ところで、よくきれいにみがいた
スプーンをみると、小さな顔がうつります。
うらのへこんだところには、
さかさになった顔がうつります。
スプーンのかがみはおもしろいですね。

ブンブンごま



あつくてかたい紙を丸に切り、
まん中に1~2センチほど離して
あなを2つあけます。

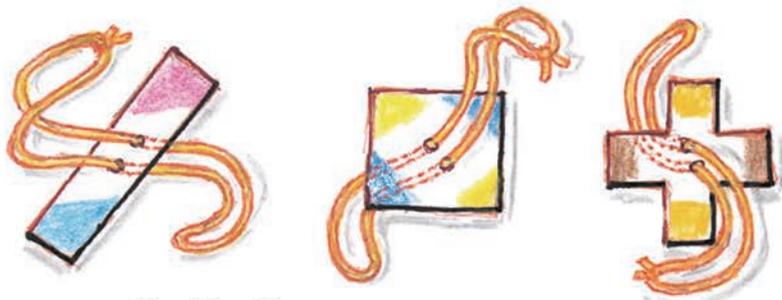
このあなに両手をひろげたほどの
ながさにした太い糸をとおして、
輪にしてむすびます。



ひもの両はしを親ゆびにかけ、
丸の紙を4~5かいぐるぐるまわして、
ひもに「よじれ」をつくります。



そして、両手を左右にひらいたり、
ちかづけたりすると丸の紙が
ブンブンいきおいよくまわります。



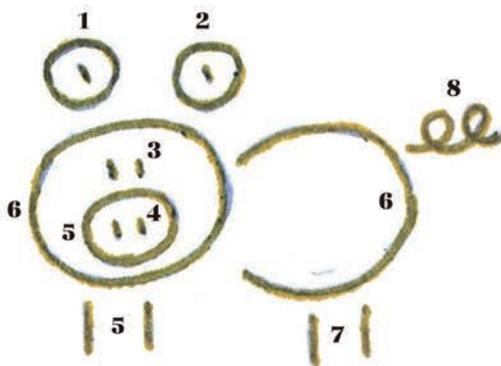
紙の形を丸ではなくいろいろかえたり、
色をぬったりしてまわすと、思いがけないきれいな色などがみえて
おもしろいブンブンごまとなります。

どうぶつ え 絵かきあそび

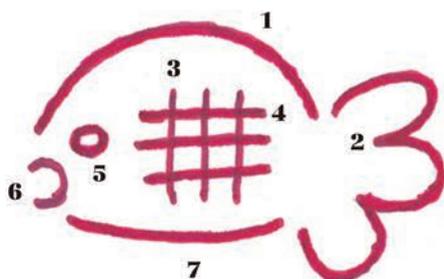
ばんごう ことば い をいながら、ず 図の番号の丸や線をかいてゆくと、
かわい え いうぶつ の絵が え できあがります。

ぶうちゃん

- 1 まるかいて ちょん
- 2 まるかいて ちょん
- 3 ちょん ちょん
- 4 ちょん ちょん
- 5 まる ちょん ちょん
- 6 まる まる
- 7 ちょん ちょん
- 8 ふう ふう ふう



キラキラ きんぎょ 金魚

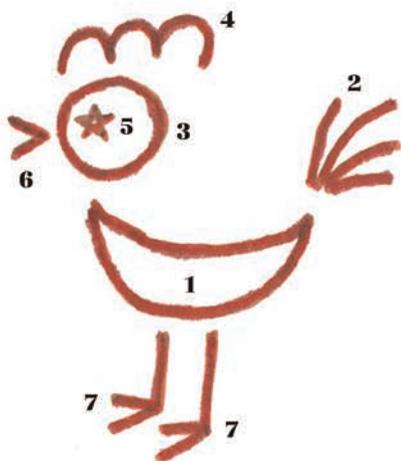


- 1 やま 山があって
- 2 さと 里があって
- 3 だいこん 大根ばたけに
- 4 むぎ 麦ばたけ
- 5 いし 石があって
- 6 いけ 池があって
- 7 きんぎょ 金魚になっちゃった



ニワトリコッコ

- 1 つきが
- 2 4つで
- 3 ひが
- 4 3つ
- 5 ほしが
- 6 2つで
- 7 とり こっこ



はるの花のクマちゃん



- 1 うめ
- 2 もも
- 3 さくら
- 4 たんぽぽ
- 5 すみれ
- 6 れんげに
- 7 すもも
- 8 なし
- 9 りんご

クマちゃんのできあがりです。



④ 絵や形をかき

でんきてじな

えんぴつやはしなどをつかってできるてじなです。

ゆびでんぎ



- 1 「ここにあるえんぴつには、なんのしかけもありません。だから手をひらくと下におちてしまいます」といって、にぎっていたえんぴつを下におとします。



- 2 えんぴつをひろって、「では、でんきによってえんぴつが手につくかためてみましょう」といって、えんぴつをもった手を小さくぎみにこすります。



- 3 「やとでんきがたまりました。にげないよう、しっかりおさえておきましょう」といって、えんぴつをもつ手をにぎります。



- 4 「どうやらしっかりでんきがたまつたようで、ゆびがピリピリしてきました」といって、にぎっているゆびを1本ずつはなして



- 5 「どうです、ごらんのようにたまつたでんきの力で、えんぴつがみごとおちなくなりました」とみんなにおちないえんぴつを見せます。

◆◆◆ たねあかし ◆◆◆



えんぴつがおちないのは、みぎての右手のゆびをのばしておさえていたのです。

わりばしでんぎ



- 1 「では、もういちどてじなをやってみましょう。よーく見ててくださいね」と言って、
こんどはわりばしなどをにぎってみんなに見せます。
みんなが、わりばしをもっている手をつかまえている
もういっぽうの手を「あやしい!」と言ったら、



- 2 「それでは、あやしい手をゆっくりはなしまーす」と言って
わりばしがおちないのを見てもらい、
「どうです、すごいでしょ」と、みんなをおどろかします。

たねあかし



みんなに見えないよう、
べつのわりばしを
手首にくくってあって
それにわりばしを
はさんでいたのです。